

# 手術の説明と同意書

( )病棟入院 ( )様

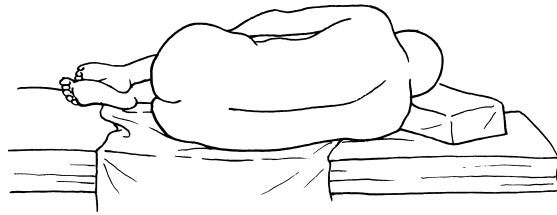
## 経尿道的膀胱腫瘍切除術

まず麻酔をかけます。

麻酔は腰椎麻酔で、これは腰から針を刺し、下半身のみ麻酔をかける方法です。

麻酔は5分から10分で効いてきます。

写真は麻酔時の体位です。 →

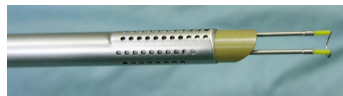


次に切除鏡(写真)、これは膀胱鏡に電気メスがセットされた器械ですが、これを膀胱内に尿道から入れ、膀胱内を十分に観察した後で腫瘍を切除していきます。

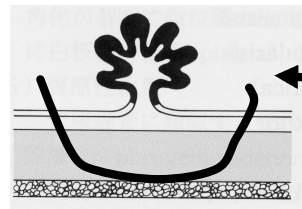


手術時間は約( )分です。

電気メスの先です。



切除終了後問題がなければ、バルーンカテーテル(尿の管)を入れ手術終了です。手術直後には膀胱内に抗癌剤を入れ1時間カテーテルを止めて膀胱内に抗癌剤がとどまるようにします。(手術の結果ではしないこともあります)手術後は膀胱内を生理食塩水で一晩洗浄します。



切除範囲

## 合併症

出血(後出血も)、穿孔、が主なものですが、処置(再手術や開腹)が必要になることはまずありません。その他、感染などの危険性や、ごくまれなものとして肺塞栓などもあります。また、腰椎麻酔による合併症としてショックや後頭痛などもあります。

この手術は当科では年間100例以上行っており、2004年から2008年の5年間で586例施行しています(浸潤がんも含む)。その中で出血のために再手術を要した症例、穿孔のために開腹を要した症例肺塞栓をきたした症例はいずれも0例でした。(2001年以前にはいずれも1例認めました)

十分注意して手術に臨みますが、決して100%安全とはいえません。

## その他

手術後3-5日で病理結果(顕微鏡の結果)が出ます。その結果で追加治療が必要になることがあります。

## 追加事項:

平成 年 月 日 説明医師( )

上記の説明を聞き、十分理解し、手術を受けることに  同意いたします。

同意しません

署名( )

また、この同意書のコピーをカルテに保管させていただきます

(2002.10.12.作成)

(2009.5.17.改訂)